

日 時 : 2012 年 3 月 7 日(水) 13:00 ~ 17:00

場 所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 窪井要((有)久保井塗装工業所)、内山貴識(東和酵素(株))、早川政男(第一塗装工業(株))、
高橋大(株三王)、坂井秀也(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)、倉持保雄(同専務理事)、
事務局:有馬弘純(塗料報知新聞社)

7 名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 評価委員について

工塗連:倉持氏から報告。

経済産業省化学課からの要請があり、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律の基盤技術として「塗装」が指定されることに伴い、平成 24 年度からは「塗装」に係る特定研究開発等計画認定申請が可能になった。このため、経済産業省化学課からこの申請書の技術開発に関する内容の評価をする委員の推薦依頼があり、次の 10 名から内諾を得たので、推薦した旨報告した。

なお、化学課によれば、評価委員については、毎年度入れ替える場合もあるので、更に推薦候補者を確保しておく必要がある、とのことであった。

・推薦した評価委員

木下 稔夫 (東京都立産業技術研究センター表面技術グループ長)

鈴木 雅洋 (東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ所長)

穴沢 靖 (岩手県工業技術センター上席専門研究員)

今井 八郎 (芝浦工業大学名誉教授)

鈴木 信貴 (京都大学特定教授)

山崎 勝弘 (広島国際学院大学准教授)

武井 昇 (職業能力開発総合大学校准教授)

平田 政司 (平田技術士事務所代表)

平野 富夫 (平野技術士事務所所長)

坂井 秀也 (坂井技術士事務所所長)

(順不同、敬称略)

2. 今後の協議会の体制について

当協議会の体制を見直し、新年度(平成 24 年度)は次のようにすることとした(案)。

なお、大きく変わる点は、日本パウダーコーティング協同組合に正式に加盟していただき、平成 23 年 2 月 18 日付の工業塗装高度化協議会 2011 会長懇談会合意文書を、日本パウダーコーティング協同組合理事長:渡邊忠彦氏を加えた 3 者のものに改め、工業塗装高度化協議会(平成 21 年 7 月 17 日制定)も必要な見直しを行うこととした。

また、本件内容については、代表 3 者にそれぞれ報告し、4 月開催の会合で了解を得る必要がある。

平成 24 年度の協議会の体制

・工業塗装高度化協議会

会 長 山崎 秀雄 (日本工業塗装協同組合連合会会長)

副会長 里見 多一 (日本塗装機械工業会会長)

副会長 渡邊 忠彦 (日本パウダーコーティング協同組合理事長)

林 正明 (日本工業塗装協同組合連合会副会長)

幹 事 平野 克己 (日本塗装機械工業会専務理事)

幹事	倉持 保雄	(日本工業塗装協同組合連合会専務理事)
幹事	福田 良介	(日本パウダーコーティング協同組合専務理事)
事務局	有馬 弘純	(塗料報知新聞社)
アドバイザー	坂井 秀也	(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)
環境技術分科会		
分科会会長	窪井 要	(日本工業塗装協同組合連合会理事)
分科会副会長	内山 貴識	(日本塗装機械工業会 技術副副会長)
	高橋 大	(日本パウダーコーティング協同組合理事)
委員	早川 政男	(日本工業塗装協同組合連合会理事)
委員	島田 哲也	(日本塗装機械工業会 技術部会長)
委員	小泉 栄	(日本工業塗装協同組合連合会理事)
委員	杉山 博英	(日本塗装機械工業会 技術副副会長)
セミナー実行委員長	内山 貴識	(日本塗装機械工業会 技術副副会長)
セミナー実行副委員長	高橋 大	(日本パウダーコーティング協同組合理事)

3. サポイン・セミナー体制について

(1) 費用

今回のサポイン・セミナー(3/29、4/5)に係る費用は、約 9 万円と見込んでいたが、セミナーに係る費用は下記のように 87,520 円となり、協議会の預金有高は 248,555 円であるため、残高 161,035 円になる旨、CEMA 側に承認を得て進める。

・セミナーに係る費用

ウイंकあいち会場等借料	約 47,720 円(会場借料、備品借料)
日本ペイント	無料 (パウダー協福田専務の交渉により)
講師交通費	約 21,800 円(木下先生の東京⇄名古屋往復交通費)
テキスト印刷費	約 18,000 円(200 名×5 頁×(カラー印刷)@18 円/頁) ※カラー印刷は工塗連事務局のコピー機で行う。
用紙代	566 円/1,000 枚
合計	87,520 円

なお、その他係りにおいて発生する費用については、各自(社)において対応する。

(2) 当日の体制

3 月 7 日時点において下記の表のとおり、係りを決定した。

	愛知(3月29日)	東京(4月5日)
集合時間	11:00	11:00
会場設営	倉持 保雄	福田 良介
会場案内(門)	不要	高橋 大
受付	内山 貴識	早川 政男
パソコン係	窪井 要	窪井 要
総合司会	窪井 要	窪井 要
開会挨拶	山崎 秀雄	山崎 秀雄
閉会挨拶	田邊 哲郎	林 正明
スタッフ	平野克己、高橋大、有馬弘純、愛塗工、山田俊幸(関塗工事務局)	平野克己、小泉栄、有馬弘純、小林勝彦(東工塗青年部)・神工塗・埼工塗

(3) 申込の状況

3月7日午前現在で、愛知37名/東京37名の計74名。いずれの会場も100名収容可能。現在、工塗連事務局としては通知すべきところは全て通知したので、新たに動員をかけないが、各係りには声かけを継続していただく。

(参考)15日現在、計101名 愛知49名 東京52名。

4. 名刺作成について

今後の活動をスムーズにするため、工業塗装高度化協議会としての名刺を作成することとする。名刺作成の担当は次のとおり。

名刺表:窪井 デザインほか/名刺裏:有馬 理念、目的、実績ほか。

5. 今後のセミナー活動について

今秋、「見直そう日本の塗装」セミナーとして実施。

内容は、案として「仏壇の塗装」、「粉体のロボット」等とする。

6. 次回の議題

①新体制の確定

②サポイン・セミナーの反省

③今秋セミナーの検討

④平成25年セミナー・テーマ

第40回 環境技術分科会 2012年4月26日(木) 13時 ~ 17時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————